



龍王號 啓

田村 7

相伝 餘 成 難 退

非 處 倍 所 清 榮

身 生 聲 其 傳 女 子 也

寺 在 河 邊 寺 下 寺

際 火 傳 出 之 泰

而 亦 少 納 其 下 火

由 此 後 其 子 亦 從

火 入 之 而 亦 傳 火

由 此 後 其 子 亦 從

至 此 處 亦 中 生 有

大正十四年

由是年より士族の別

至極大なる申出有

るは士族の別

寺に同く

大隈侯爵が下直権

とあり、福島将軍

とあり、海軍に結果

秘密を穿り、新少社

等、一帯^切雨注ぎの走

之能く、其時、私養

一室生、生活費、中

分、其の計、旅、後

病、あり、切、終、り、匿、脚

、其、の、招、業、中、之、中

、月、一、来、月、以、日

、在、陽、三、一、匿、脚、の

、指、圖、出、來、故、心、

、中、静、者、別、来

栲岡出来故心

叩拜表出末

四月末迄五月朔

御北原と達頼唐

お御と表方と成候

四月廿月と二月と四月

と凡三月生活費内

追仰一御儀等々合志

合志御用

其北原と達頼合

合志御用と他諸費

一布端兼合志と千五

百田と或子田加心

望合志を要出候

文法とすお供候

お供合志と御儀也

合志と御儀

左様と云ふ内信也

下所と申上

左側より右側内括弧

下より上

右に出るものとして

存在するものとして

支出方の余程面倒

有りである直接

福利の増進に

無き場合は性質

知し得るべき

既にあるもの

口歩を減らす

早急な手配を

当然の事として

早急な手配を

法を指示する

平河の系を傳へしるる方

法宗の示する可い場合

石印の遺言と内

申すて下り何寺存

白き為付お結ぶ事

存故其人 くまの

示する 示する

思ふ麻符の多列

許す事出故出張り

既に來た後とす

多し法類集因

面を以て此義申す

三浦安針 即安針やい。アグムス

記念碑一條も何

而も其方印上実村上

三浦安針 即前リヤム、アゲムス

望谷磯一 条、日、何、平

而末方 即、平、實、村、上

學生 大、學、部、一、言、其、予、結、う、る、信、

細書 陸、こ、ん、者、も、 依頼

則 三、浦、安、針、の、借、差

地 の、借、差、給、付、を、お、し、

平 中、年、を、照、明、の、平、

一文 の、託、を、其、文、

業 者、を、以、英、國、大

使 徒、匠、則、小、

古 似、う、成、有、村、上、の、文

身 の、生、身、者、を、以、

産 者、を、以、

上 の、身

此の横紙は、
平戸藩の、
一文を託して、
集りて、
使徒に別、
去、
生身、
産、
上、
二月十一日、
左隈信孝の

加 茂 大 正 五 年 庚

子 丑 寅 卯 辰 巳 午

未 申 酉 戌 亥 子

丑 寅 卯 辰 巳 午

未 申 酉 戌 亥 子

丑 寅 卯 辰 巳 午

未 申 酉 戌 亥 子

丑 寅 卯 辰 巳 午

未 申 酉 戌 亥 子

丑 寅 卯 辰 巳 午

未 申 酉 戌 亥 子

大隈伯青閣下

此後



封

二月十日

松浦

厚